

主なヒト用抗菌性物質のランクに関する国際機関等との比較表

抗菌性物質の系統名*		ランク付け		抗菌性物質例	ランク付け			
		WG(案)	カナダ(案)		WHO	アメリカ合衆国	オーストラリア	
セフェム系	第3世代(オキササ型を含む。)及び第4世代セフェム系			セフェピム				
				セフォタキシム				
				セフォペラゾン				
				セフトジジム				
				セフチゾキシム				
				セフチブテン				
				セフトリアキソン				
				セフピロム				
				セフポドキシム				
				セフォテタン				
	第2世代セフェム系(オキサ型を含む。)				セファクロル			
					セファドロキシル			
					セファマンドール			
					セファレキシム			
					セフィキシム			
セフジニル								
セフラジン								
第1世代セフェム系				セフロキシム				
				セファゾリン				
				セファロチン				

抗菌性物質の系統名*		ランク付け		抗菌性物質例	ランク付け		
		WG(案)	カナダ(案)		WHO	アメリカ合衆国	オーストラリア
ペニシリン系	天然型			ペニシリンG			
	広域型			アモキシシリン			
				アンピシリン			
				チカルシリン			
				ピペラシリン			
	ペニシリナーゼ抵抗性を有するもの			オキサシリン			
				クロキサシリン			
				ジクロキサシリン			
				ナフシリン			
				メチシリン			
その他のペニシリン系	-ラクタマ-セ'阻害薬配合剤			クラバン酸 / アモキシシリン			
				スルバクタム / アンピシリン			
				タゾバクタム / ピペラシリン			
	カルバペネム系			イミペネム			
				メロペネム			
	ペネム系			ファロペネム			
	モノバクタム系			アズトレオナム			

抗菌性物質の系統名*		ランク付け		抗菌性物質例	ランク付け		
		WG(案)	カナダ(案)		WHO	アメリカ合衆国	オーストラリア
アミノグリコシド系	カナマイシン系			アルベカシン			
				アミカシン			
				トブラマイシン			
	ゲンタマイシン・シゾマイシン系			カナマイシン			
				ゲンタマイシン			
				ネチルマイシン			
	ストレプトマイシン系			ストレプトマイシン			
スペクチノマイシン系			スペクチノマイシン				
フラジオマイシン系			フラジオマイシン(ネオマイシン)				
テトラサイクリン系	活性の持続性を強化したもの			ドキシサイクリン			
				ミノサイクリン			
	天然型			テトラサイクリン			
				オキシテトラサイクリン			
マクロライド系	14及び15員環構造を有するもの			アジスロマイシン			
				クラリスロマイシン			
				ロキシスロマイシン			
				エリスロマイシン			
	16員環構造を有するもの			スピラマイシン			
				ミデカマイシン			
	ケトライド系			テリスロマイシン			
	リンコマイシン系			リンコマイシン			
			クリンダマイシン				

抗菌性物質の系統名*		ランク付け		抗菌性物質例	ランク付け		
		WG(案)	カナダ(案)		WHO	アメリカ合衆国	オーストラリア
ペプチド系	グリコペプチド系			テイコブラニン			
				バンコマイシン			
	ポリペプチド系			コリスチン			
				バシトラシン			
			ポリミキシンB				
その他の抗生物質	スプトレプトグラミン			キヌプリスチン/ ダルフォプリスチン			
	クロラムフェニコール			クロラムフェニコール			
				チアンフェニコール			
	フシジン酸			フシジン酸			
	ホスホマイシン			ホスホマイシン			
ムピロシン			ムピロシン				
抗結核薬	抗結核薬			イソニアジド			
				エチオナミド			
				塩酸エタンブトール			
				サイクロセリン			
				ピラジナミド			
				リファンピシン(リファンピン)			

抗菌性物質の系統名*		ランク付け		抗菌性物質例	ランク付け		
		WG(案)	カナダ(案)		WHO	アメリカ合衆国	オーストラリア
キノロン系	オールドキノロン系			シノキサシン			
				ナリジクス酸			
				ピペミド酸			
	フルオロキノロン系			エノキサシン			
				オフロキサシン			
				ガチフロキサシン			
				シプロフロキサシン			
				スパルフロキサシン			
				ノルフロキサシン			
				レボフロキサシン			
		ロメフロキサシン					
スルホンアミド系	トリメトプリムが配合されたもの			スルファメトキサゾール/トリメトプリム			
	スルホンアミド系			スルファジアジン			
				スルファメトキサゾール			
				スルフィソキサゾール			
オキサゾリジノン系			リネゾリド				

注意点

*WG案のランク付けに示された系統に準じて取りまとめた。

**日本と他のランク表等に収載された抗菌性物質を抜粋し、WG案の分類を基づいて記載した。

本表で用いたランクを示す記号(~)は、各国等のランクの記号に次のように対応している。

作成者	引用文献	本表で用いたランクを示す記号			
薬剤耐性菌に関するWG	食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについて(案)	:きわめて高度に重要	:高度に重要	:重要	該当なし
カナダ	Draft Report of the Consultation with Stakeholders on the Development of a Risk Management Strategy on Antimicrobial Resistance Associated with Animal Use of Antimicrobial Agents	: Very High Importance	: High Importance	: Medium Importance	: Low Importance
WHO	Critically Important Antibacterial Agents for Human Medicine for Risk Management Strategies of Non-Human Use	Critically important agents	Highly important agents	Important agents	該当なし
アメリカ合衆国	Guidance for Industry # 152	C: Critically important	H: Highly important	I: Important	該当なし
オーストラリア	Importance Rating and Summary of Antibiotic Use in Humans in Australia	High	Medium	Low	該当なし